

2022年度 CONE 事業報告

(2022年4月1日～2023年3月31日)

NPO 法人自然体験活動推進協議会

1. 事業 ※ [] は、中期計画一覧表の関連項目を表す。

1.1 自然体験活動普及事業

自然体験活動普及のため、メールマガジン等での情報提供、広報ツールの作成と活用、また、関連団体への協力を行った。

(1) ホームページの拡充とSNSの活用

- ・ 会員サービスとしてのウェブサイトの充実およびメールマガジンの発行、ホームページ・フェイスブック等による情報提供 [1-③、1-⑤、4-①、4-②)
- ・ イベントおよび講習会等の遅延なき告知 [4-①]
- ・ 会員および有資格者からの情報提供の促進 [4-①]

会員団体や指導者などよりいただく情報をもとに、合計 24 件のメールマガジンを隔週金曜日に発行し、ホームページ及び Facebook の随時更新を行った。

- ・ 各アプリの役割と目標の整理 [4-②]
- ・ インタラクティブ機能の強化方法の検討 [4-②]

上記については、検討に至らなかった。

(2) 新広報ツール作成の検討

- ・ 感染症対策をはじめとするリスクマネジメントに関する最新情報の掲載 [4-①]

安全部会にて安全管理者専用メーリングリストにより、随時安全管理者にリスクマネジメントに関する最新情報をご案内した。

- ・ NEAL 指導者と CONE 指導者の関係整理[1-①]
- ・ 動画コンテンツの管理方法の検討 [4-①]
- ・ 有資格者の提示方法の検討 [4-①]
- ・ 自然体験活動憲章やCONEの役割を改めてアピールするとともにマスコミの積極的活用を図る [5-①、5-②]

上記については、検討に至らなかった。

(3) アウトドアチャレンジ協議会への協力（野外力検定事業）

(4) 体験の風をおこそう運動推進委員会への協力

1.2 自然体験活動指導者登録活用事業

CONE トレーナー養成制度の見直しの為、CONE トレーナー像の整理や養成カリキュラム時間数の見直しについて検討した。また、COEN トレーナーや NEAL 指導者の養成講習会や更新講習会を実施した。

(1) CONE トレーナー制度の再検討

- ・ トレーナー養成/更新/活用の見直し[2-①]
- ・ 人材養成事業活性化のため、トレーナーの仕事をつくる[2-⑥]

CONE トレーナー養成制度の見直しのため、指導者部会にて CONE トレーナー像の整理（主任講師（講習管理者）と CONE トレーナーの関係など）やルーブリック（評価制度）の導入、養成カリキュラム時間数の見直しについて検討した。2023 年度のトレーナー養成会・認定会からの導入を目指し、引き続き検討する。

(2) CONE トレーナーの養成と更新を推進

(3) NEAL 指導者養成会及び更新講習会の開催

- ・ NEAL 指導者資格更新/上級指導者/統括指導者を支援 [2-④]
- ・ 財政面での柱である「自然体験活動部会」からの収入増を鑑み、他組織では取り組みが難しい NEAL インストラクター、NEAL コーディネーター養成事業を主催すると同時に更新者への支援を自然体験活動部会と共同で取り組む。[2-①、2-④]

CONE トレーナー・主任講師（講習管理者）更新講習会及び NEAL インストラクター養成講習会を開催（運営：信州外あそびネットワーク、子どもゆめ基金助成事業）。

なお、CONE トレーナー認定会については開催を計画するも、最少催行人数に達せず中止となった（トレーナー養成会は隔年開催を予定しており、2022 年度は開催年には当たらない為、開催していない）。また、NEAL インストラクター、NAEL コーディネーター指導者更新講習会については、リスクマネジメント講習会やリスクマネジメントセミナーと振り替える事により可能とした。

1.3 自然体験活動指導者交流支援事業

国立青少年教育振興機構等との連携・協力事業の実施により、ネットワークの拡大増強に努めた。

(1) 会員団体間での交流促進

- ・ 月に1度、1～2時間程度の「団体、指導者のサロン」を実施。[3-①]
- ・ オンラインによる地域フォーラム（全国6地区）や WEB しゃべり場の開設 [3-①]

ZOOM を活用したオンラインサロン等の開催を検討するも、2022 年度においては開催するに至らなかった。

(2) ネットワークの拡大増強（連携・協力事業）

①国立青少年教育振興機構

- ・ キッズフェスタへの協力（春のキッズフェスタ 6 月ごろ・秋のキッズフェスタ 10 月ごろ）
- ・ 体験の風をおこそう運動 関連イベントへの協力（10 月）

②「体験の風をおこそう」運動実行委員会

ネットワークの拡大増強として、国立青少年教育振興機構や「体験の風をおこそう」運動実行委員会と連携・協力した。

1.4 自然体験活動指導者認定制度の事務局運営に関わる事業

自然体験活動指導者（NEAL）制度の事務局運営（全国体験活動指導者認定委員会自然体験部会）を行った。

（1）自然体験活動部会事務局の運営

自然体験活動指導者（NEAL）制度の事務局運営（全国体験活動指導者認定委員会自然体験部会）を行った。2022年度自然部会において、「年度末年齢16歳以上18歳未満のNEALリーダー登録」や「インストラクター・コーディネーターweb更新のyoutube動画刷新」「インストラクター養成講習の一部オンライン開催の認定」等、検討した。

（2）NEAL指導者の養成促進

（3）中国での、CONE主催NEALリーダー養成講習会の開催

- ・ 一層のNEAL事務管理費収入を得る為、NEAL指導者登録者数増強に注力する。[6-①]
 - ① アクティブ指導者の育成
 - ② 年度内にインストラクター概論まで終了する一括養成プランの提案
 - ③ トレーナー、主任講師（講習管理者）の支援
 - ④ 推薦（飛び級制度）の検討

NEAL指導者の養成促進の一環として、年度末年齢16歳以上18歳未満のNEALリーダー登録を可能とした。なお、中国での「CONE主催NEALリーダー養成講習会」は開催されなかった。

1.5 自然体験活動に関する安全管理に関わる事業

安全管理者養成の為、リスクマネジメント講習会やリスクマネジメントセミナーの実施、及び講習会用資料の見直しを行った。また、安全管理者に対して講習会の講師依頼やリスクマネジメント講習会の開催の為の説明会の開催なども実施した。

（1）安全管理者（リスクマネジメントディレクター及びリスクマネジャー）の資格付与

（2）安全管理に関わる講習の開催

- ・ 安全管理者養成の活性化 [2-②]
- ・ 「安全管理者制度」の普及促進に努め、「リスクマネジメント講習会」や「リスクマネジメントディレクター養成講習会」等の開催充実を図る。 [2-②]

リスクマネジメント講習会、リスクマネジメントセミナー（リスクマネジメントディレクター養成講習会、リスクマネジャー養成講習会）、安全管理者更新講習会を開催。

なお、一部リスクマネジメント講習会、リスクマネジメントセミナーについては、子どもゆめ基金より助成を受けて開催した。

（3）カリキュラムの見直し（パワーポイント資料の修正・ハンドブックの改訂作業）

安全部会にて、リスクマネジメントディレクター及びリスクマネジャー養成講習で使用する講師用資料を改訂した。

(4) リスクマネジメント講習会の開催支援

リスクマネジメント講習会講師登録者に対し、2021年度に改訂したテキストに関する説明会を開催。リスクマネジメント講習会の開催申請時の受付及びテキスト及び修了証発行、講義資料提供等を実施。

(5) 指導者の活動機会の拡充

主催事業及び講師派遣等に対し、安全管理者への講師依頼及び派遣を行った。

※講師派遣依頼 しまかわ観光協会 様、とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会 様、
沖縄科学技術大学院大学 様

(6) SAFETYOUTDOORキャンペーンの実施

2022年夏にSAFETYOUTDOORキャンペーンを実施。参加いただいた団体及び指導者は以下の通り。(順不同)

協 賛 NPO 法人 野外遊び喜び総合研究所 様、匿名

賛 同 NPO 法人これからの学びネットワーク 様、NPO 法人こそだてママ net☆ 様
ヤックス自然学校 様、一般社団法人あぶくまエヌエスネット 様
NPO 法人 Earth Communication 様、自然体験村 様、杉の子会 様
土居 自然学校 様、認定 NPO 法人 JUON NETWORK 様
公益財団法人春日井市スポーツ・ふれあい財団 様
認定 NPO 法人よみたん自然学校 様
公益財団法人社会教育協会 ひの社会教育センター 様
公益財団法人春日井市スポーツ・ふれあい財団 様

1.6 自然体験活動に関わるその他の事業

(1) 自然体験活動指導者向け研修会の開催

- ・ SDGs の内容を取り入れた事業を実施する。[6-①]

上記については、検討に至らなかった。

(2) 自然体験活動推進法（仮称）の制定に向けた提言

4月19日に自然体験活動推進議員連盟総会を開催。塩谷 立氏が会長に就任された。総会では、青少年自然体験活動等の推進に関する法律案についての説明があった。

(3) JAPAN OUTDOOR LEADERS AWARD (JOLA) 事務局運営

JAPAN OUTDOOR LEADERS AWARD 2023にて、大賞・特別賞・U25賞・ファイナリスト（優秀賞）の9名が決定された。また、歴代ファイナリストとJOLA支援者による、多様な取組みなどに関するクロストークを実施した。

(4) 書籍販売

(5) 民間企業や国及び地方行政から委託事業もしくは企業との事業連携を図る

- ・ 民間企業や国及び地方行政等からの委託事業の獲得や地域CONEネットワークを活用した事業展開により、企業や行政との事業連携を図る [5-③]
- ・ 企業連携や助成事業の実施を団体に依頼し、事務局経費を得て、財政状況の回復を目指す。 [5-③、6-①]

「東京都・子供を笑顔にするプロジェクト」に協力し、会員団体ご協力のもと事業を提供。また、体験活動に関する推進方策を検討する「文科省・子供の体験活動推進に関する実務者会議（リアル体験推進チーム）」に佐藤代表理事が出席した。

(6) 外部団体向け各種研修事業への支援

- ・ 依頼があった外部団体への講師派遣
- ・ 新型コロナウイルス禍を機に「オンライン」による外部団体向けの講習会の実施 [5-④]

外部団体への講師派遣として、2021年度に続きCONEトレーナーのご協力をいただき白百合学園中学高等学校様のクラブ活動コーチを担う。また、その他に安全管理者講習に関する講師派遣も実施（「1.5 自然体験活動に関する安全管理に関わる事業（5）指導者の活動機会の拡充」参照）。

(7) 会員拡大と支援

- ・ 現会員の登録維持と新入会の促進 [1]
- ・ 新加入団体獲得のためのコミュニケーションの開始 [1-②]
- ・ 会員相互のコミュニケーションを高め、現会員の組織への関与を高める [1-⑤]
- ・ 現状の制度（CONEの会員組織、NEALとCONEの関係など）の整理 [1-①]

現状のNEALとCONEの関係の整理の一環として、主に経理面での整理を行った。また、以下4団体に加入いただいた。（順不同）

正会員 一般社団法人まなび創造アカデミー 様
一般会員 自然体験村 様、NPO法人棚田LOVER's 様、
森のようちえん キンダガーデン 様

(8) その他

- ・ 人的資源の確保
- ・ 寄付事業（寄付金、遺贈、クラウドファンディング等）の拡大

寄付事業の拡大を目指し、運営委員会にて寄付を募る為の資料を作成した。

2. 会議、委員会

2.1 役員会議等

(1) 役員会議の合理化を図る

- ・ 引き続き役員（理事、監事）体制の検討を行う。[6-④]
- ・ 中長期計画をベースに「次の10年」に向けたCONEのビジョンや社会的意義の再確認を行う。[5-①]

2020年度から検討を重ね、2022年度総会にて「新たな組織運営体制」が承認された。役員改選後の7月より、新体制で運営する。

ねらい

理事、監事、評議員の役割を明確にし、任期や会議体等を整理する事により、健全な運営体制の構築と円滑な世代交代の仕組みを作り、持続可能なネットワーク団体を目指します。

主な変更点

- ・「役員推薦委員会」の設立
： 評議員会のもと役員推薦委員会を新たに設置し、役員候補者を選考する事により役員就任の透明性を高める。また、将来的には役員を公募したい。
- ・理事、監事、評議員の役割及び任期の改定
： 役割を明確にし、各種事業や組織運営に責任を持ち、結果が期待できる執行体制とする。また、再任回数に上限を設ける事により円滑な世代交代を促進する。
- ・事業執行状況の評価
： 責任執行体制の具体化には事業評価が必要と考え、今後は事業の執行状況を確認する為に役員は就任期間（2年間）のうち書面による執行状況報告と面談を実施する。

(2) 役員会の開催

以下の通り役員会を開催した。詳細は別紙参照。

総会（5/27）、評議員会（5/27,1/27（臨時））、理事会（5/27,11/1（臨時）,3/17）、常任理事会（4/12（臨時）,5/20,9/28,2/24）、監査（5/12）

2.2 委員会

(1) 事業整理に伴う新制委員会による運営

「新たな組織運営体制」のもと、主に来期役員推薦候補者の選考を行う「役員推薦委員会」が開催された。また、前年度に続き、運営委員会、事業委員会および安全部会、指導者部会、総務会で、各種検討が行われた。詳細は別紙参照。

3. 事務局

(1) 就業環境の向上

①職員の勤務体制

新型コロナウイルス感染症を考慮し、職員の勤務体制を電話受付及び郵便物確認のため1名出勤、他1名は在宅勤務とした（電話受付は平日12時～15時）。

(2) 職員

①常勤職員：2名

以上

目指す社会	取り組みの柱	アクション
自然体験活動憲章に基づき、 私たちのライフスタイルの中に自然体験活動が根付き、 あらゆる生き物が共に暮らせる持続可能な社会	1（会員）の 増強	①CONE と NEAL 制度の関係についてのわかりやすい説明
		②CONE 未入会団体への営業
		③会員（指導者養成団体）サービスの向上
		④新しい会員枠の検討
		⑤会員との双方向チャンネルの構築
	2（人材）の 育成支援	①トレーナー養成／更新／活用についての再検討
		②安全管理者資格制度の普及と安全管理者の養成
		③NEAL リーダー養成への支援
		④NEAL 指導者資格更新／上級指導者／統括指導者への支援
		⑤専門研修の提供
		⑥指導者の活動の場の拡充提案
		⑦インターネットなどによるネット配信講習の検討
	3（組織・団体）の交流連 携／支援	①会員団体間での交流促進
		②ネットワークの拡大増強
	4（情報）の 提供	①ホームページの拡充
		②SNS の活用
	5（社会的認 知）の向上	①自然体験活動憲章や CONE の役割を改めてアピール
		②マスコミの活用
		③企業や行政との事業連携
		④外部団体向けの講習会実施
	6（経営基 盤）の強化	①事業の整理と開発
		②人的資源の確保
		③寄付行為の拡大
		④役員（理事、評議員等）、委員会等の体制検討
		⑤就業環境の向上

役員会・委員会開催状況

2022年度役員会及び委員会、部会は、以下の通り行われた。

(1) 役員会

- ・ 常任理事会：4回（臨時：2022/4/12、第1回：5/20、第2回：9/28、第3回：2023/2/24）
- ・ 理事会：3回（第1回：2022/5/27、臨時：11/1、第2回：2023/3/17）
- ・ 評議員会：2回（第1回：2022/5/27、臨時：2023/1/27）
- ・ 総会：1回（2022/5/27）
- ・ 監査：1回（2022/5/12）

主な検討内容：

- ・ 新組織運営体制
： 健全な運営体制の構築と円滑な世代交代の仕組みを作り、持続可能なネットワーク団体を目的とし、当年度総会において当会における新組織運営体制が承認された。
- ・ 定款の一部変更
： 新組織運営体制作りに向けて、関連する定款第15条（種別および定数）、第18条（任期等）、第43条（評議員等）の変更を行った。

(2) 委員会 ※以下、敬称略

① 運営委員会

委員：佐藤繁一、河原塚達樹、太田原康志

開催日：2022/5/2、7/11、9/9、2023/1/18（4回）

主な検討内容：

- ・ 寄付金獲得に向けた検討
： 寄付金獲得に向けた、目的の整理やリターンの検討、パンフレットの作成を行った。

② 事業委員会

委員：小林孝之助、加々美貴代、砂山真一、田口眞嗣、増田直広

開催日：2022/5/2、12/22（書面による開催）（2回）

主な検討内容：

- ・ 年間事業計画の確認
- ・ 各部会の作業内容の確認
- ・ リスクマネジメントディレクター、リスクマネジャーの認定
- ・ 指導者部会 部会員の増員

a. 安全部会

部会員：田口眞嗣、砂山真一、小林孝之助、三好利和、片岡麻里、町頭隆児、北川健司

開催日：2022/4/14、5/23、6/8、6/29、9/15、11/9、12/20、2023/2/13、3/23（9回）

主な検討内容：

- ・ パワーポイント資料の改訂
： リスクマネジメントディレクター及びリスクマネジャー養成講習で使用する講師用資料の内容を見直した。
- ・ リスクマネジメントディレクター養成講習講師を対象とした説明会
： リスクマネジメントディレクター養成講習の講師候補者に対し、講習内容を統一するためにオンラインで説明会を開催した。

- ・その他
 - ：・事業計画の検討及び各種安全管理者講習会の講師を担当（全 26 講習）
 - ・外部からの講師派遣依頼を受けて講師を担当
 - ・リスクマネジメントディレクター及びリスクマネジャー養成講習受講者の合否検討

b.指導者部会

部会員：加々美貴代、増田直広、山路歩

開催日：2022/9/7、10/5、11/25、12/13、12/20（5回）

主な検討内容：

- ・トレーナー養成カリキュラムの見直し
 - ： 新規トレーナー養成者数の増加のため、カリキュラム全体の見直しをおこなっている。2023年度のトレーナー養成会からの施行を目指す。

- ・その他
 - ：・今年度事業計画の検討
 - ・NEAL インストラクター養成講習会の開催（協力：信州外あそびネットワーク）
 - ・トレーナーの会（更新講習）の講師を担当（全 2 講習）

③役員推薦委員会

委員：神崎清一、飯田洋、海野義明、佐々木豊志、青木康太朗、岩垂章、田口努、重政子、山本信也

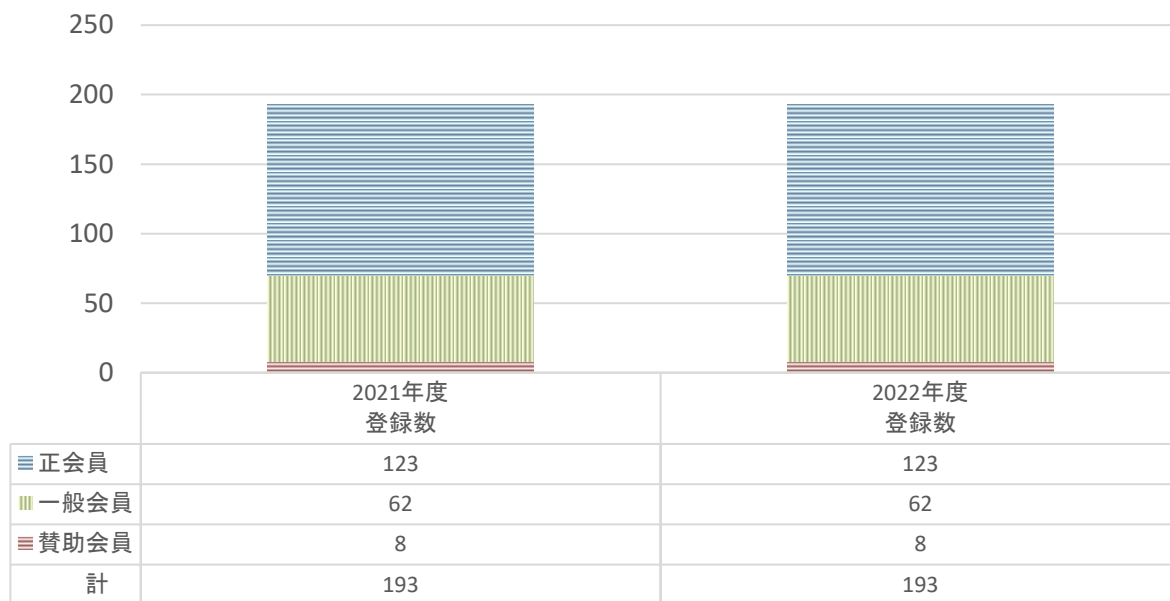
開催日：2022/12/8（1回）

主な検討内容：

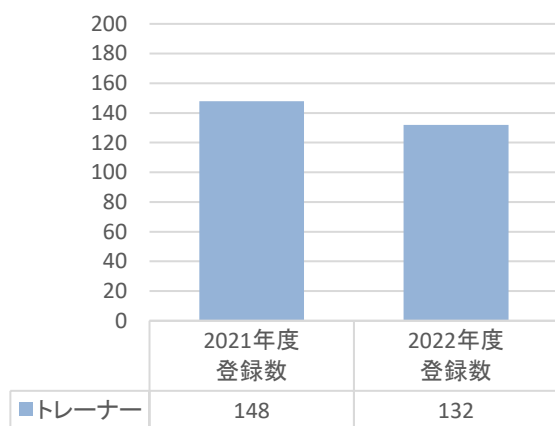
- ・役員候補者の選考
 - ：新たな組織運営体制に基づき、来期役員候補者の選考を行った。

以上

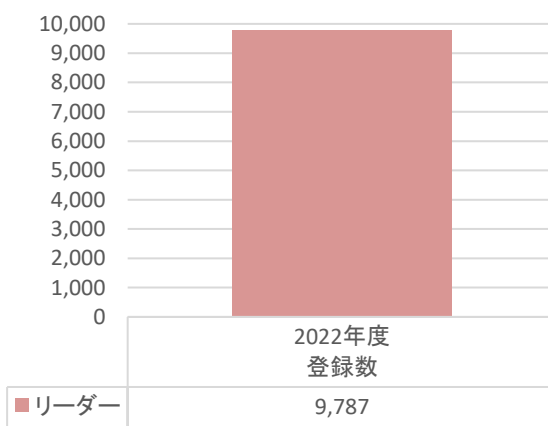
(1) 会員数



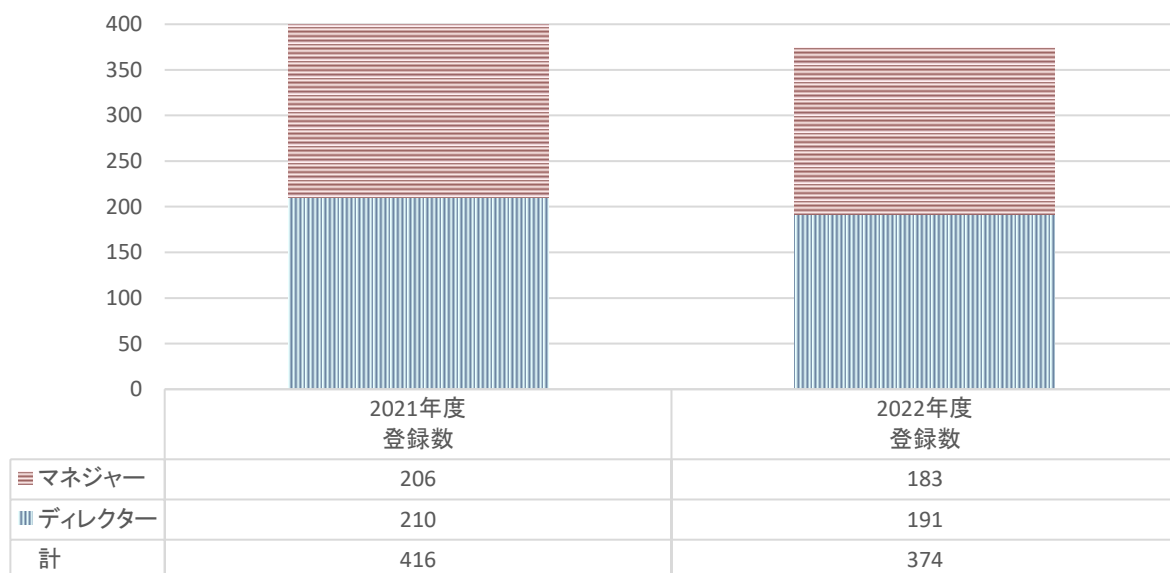
(2)-1 CONEトレーナー



(2)-2 CONEリーダー ※終身登録



(3) 安全管理者数



年	月	日程	事業名	開催場所	備考	参加者数	合計	
◇2022年度講習会参加者数総計							523	
安全管理者養成会							390	
2022	5	15	リスクマネジメント講習会	国立オリンピック記念青少年総合センター	東京都	ゆめ基金助成事業	11名	258
	"	29		高松市市民活動センター	香川県	ゆめ基金助成事業	11名	
	6	19		下京青少年活動センター	京都府	ゆめ基金助成事業	8名	
	7	18		北九州市立玄海青年の家	福岡県	ゆめ基金助成事業	19名	
	9	11		沖縄船員会館	沖縄県	ゆめ基金助成事業	10名	
	10	2		多賀城分庁舎	宮城県	ゆめ基金助成事業	20名	
	11	10		オンライン	—		11名	
	11	19		アクトランドYAO(八尾市立大畑山青少年野外活動セン)	大阪府	ゆめ基金助成事業	9名	
	12	3		アイム・ユニバース てだこホール	沖縄県	ディレクター養成講習と同時開催	7名	
	"	6		山形金峰少年自然の家	山形県	ディレクター養成講習と同時開催	6名	
	"	14		大阪府立羽衣青少年センター	大阪府	ディレクター養成講習と同時開催	4名	
	"	17		ガイア自然学校	石川県	ゆめ基金助成事業	14名	
2023	1	8		上勝町落合複合住宅	徳島県	ゆめ基金助成事業	6名	
	1	14		国立諫早青少年自然の家	長崎県	ゆめ基金助成事業	29名	
	"	25		オンライン	—		14名	
	"	30		京都市ひとまち交流館	京都府	ディレクター養成講習と同時開催	7名	
	2	4		北九州市立玄海青年の家	福岡県	ディレクター養成講習と同時開催	14名	
	2	4		森林文化アカデミー	岐阜県	ゆめ基金	35名	
	"	14		国立オリンピック記念青少年総合センター	東京都	ディレクター養成講習と同時開催	16名	
	"	18		富山県総合体育センター	富山県	ディレクター養成講習と同時開催	7名	
2022	12	3~4	リスクマネジメントディレクター養成講習会	アイム・ユニバース てだこホール	沖縄県	ゆめ基金助成事業	10名	83
	"	6~7		山形金峰少年自然の家	山形県	ゆめ基金助成事業	6名	
	"	14~15		大阪府立羽衣青少年センター	大阪府	ゆめ基金助成事業	7名	
2023	1	30~31		京都市ひとまち交流館	京都府	ゆめ基金助成事業	9名	
	2	4~5		北九州市立玄海青年の家	福岡県	ゆめ基金助成事業	16名	
	"	14~15		国立オリンピック記念青少年総合センター	東京都	ゆめ基金助成事業	26名	
	"	18~19		富山県総合体育センター	富山県	ゆめ基金助成事業	9名	
2022	12	14~15	リスクマネジャー養成講習会	大阪府立羽衣青少年センター	大阪府	ディレクター養成講習と同時開催	5名	9
2023	2	14~15		国立オリンピック記念青少年総合センター	東京都	ディレクター養成講習と同時開催	4名	
2022	4	22	講習会講師養成会&講師説明会	国立オリンピック記念青少年総合センター&オンライン	東京都	講師養成会6名、説明会25名	31名	40
2023	2	28		国立オリンピック記念青少年総合センター	東京都	講師養成会5名、説明会4名	9名	
安全管理者更新講習会							75	
2022	10	28	安全管理者更新講習会	オンライン	—		27名	75
2023	2	22		オンライン	—		48名	
NEAL指導者養成講習							10	
2023	1	31-2/2	インストラクター養成講習会	安藤百福記念自然体験活動指導者養成センター		運営:信州外あそびネットワーク	10名	10
トレーナー養成講習会							0	
2022	12	2,9,16	トレーナー認定会	オンライン	—	※最少催行人数に達せず中止	0名	0
指導者更新講習会							38	
2022	11	25	更新講習会(CONEトレーナー/主任講師)				10名	38
2023	1	23					28名	
その他							10	
2023	2	16	保険ミーティング				10名	10